

新型コロナウイルスによる生乳需給への影響を鑑み、直近の飲用等向けの販売状況の推移を中心に毎週発信してまいります。

発行：一般社団法人Jミルク生産流通グループ

《引き続き予断を許さない生乳需給～新型コロナウイルス感染拡大による生乳需給への影響について～》

- ・8都道府県で継続されている緊急事態宣言について、関西圏(3府県)が本日解除される見通しとなっているが、最大の消費地である首都圏ならびに北海道については今月末まで継続になると想定される。解除された地域では徐々に学校や飲食店等の再開が見込まれるが、停滞している業務用需要が急速に回復することは見込めないため、需給調整が予断を許さない状況にあることは変わらない。
- ・また、農林水産省の「プラスワンプロジェクト」を始め、各般において積極的な家庭内消費の拡大を促進する取り組みが実施され、ニュースやSNSでも大きく取り上げられたことが奏功し、家庭内消費については好調を維持してきた。以下に示すとおり、5/4週からはやや落ち着いた販売状況となっているものの、ゴールデンウィーク明けの直近(5/11週)も引き続き好調に推移している。
- ・一方、北海道の生産量がこれからピークとなるため、処理不可能乳が発生しないように、気を緩めることなく業界で一致協力して対処して行くことが重要である。
- ・なお、緊急事態宣言解除後の学乳や飲食店等の再開の状況によっては、需給の基調が大きく変化することも危惧されるので、今後の生乳乳製品の需給情報については、特に注視しておく必要がある。

【牛乳類の販売速報(推定値)：インターージSRI】

(1)直近(本年2月～)の動向(表①参照)

- ・直近(5/11週)の販売個数(前年同期比)は、牛乳：同119.2%、成分調整牛乳：同109.1%、加工乳：同103.6%、乳飲料：同111.6%。
牛乳類トータルでは同116.7%と前年を大きく上回って推移している。
- ・販売単価は、牛乳：190.3円、成分調整牛乳：174.6円、加工乳：180.8円、乳飲料：150.7円。

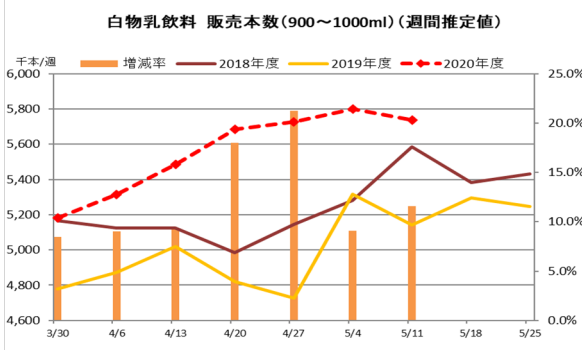
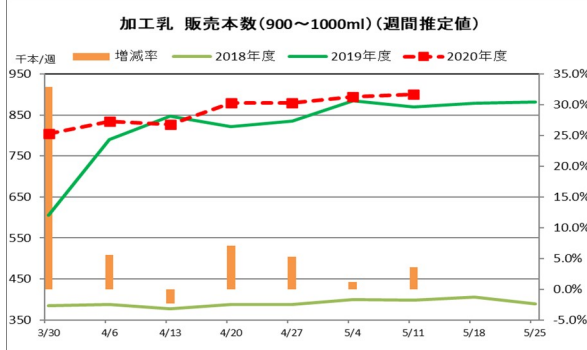
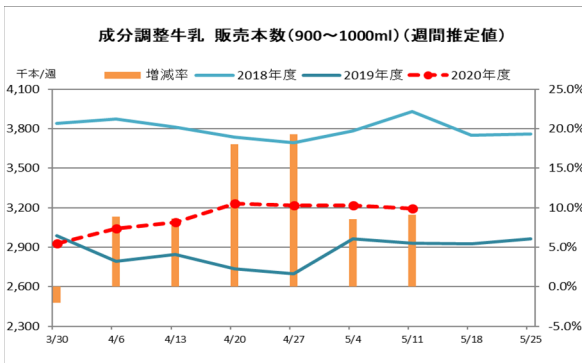
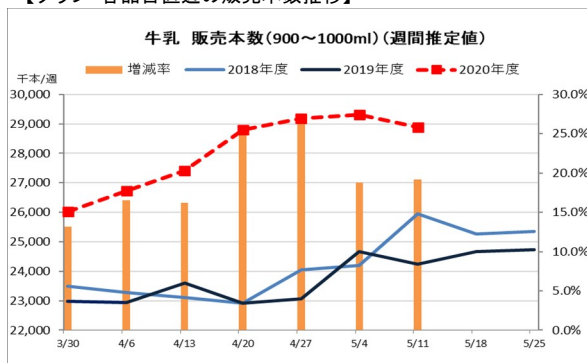
(2)各品目とも前週(5/4週)と同水準で堅調に推移している。

※出典 (株)インターージSRI週データ。販売本数、販売単価(税抜)については推定値。データ転用はご遠慮下さい。

【表① 直近の牛乳類の販売動向】※量販店・コンビニ等、小売店の販売実績

品目	区分	2.3-	2.10-	2.17-	2.24-	3.2-	3.9-	3.16-	3.23-	3.30-	4.6-	4.13-	4.20-	4.27-	5.4-	5.11-
		販売個数	30,432	31,247	30,644	33,774	32,555	33,491	32,590	34,687	34,935	35,917	36,813	38,603	39,030	39,227
トータル	販売個数前年比	101.2	100.7	100.8	110.4	106.4	108.3	105.9	110.3	111.4	114.4	114.0	123.4	124.6	115.9	116.7
	販売単価	181.5	181.4	181.8	181.4	182.0	181.9	182.0	182.3	181.9	182.5	182.7	183.0	183.3	183.1	182.9
牛乳	販売個数	22,464	23,070	22,687	24,928	24,150	24,851	24,190	25,793	26,023	26,729	27,412	28,809	29,199	29,316	28,892
	販売個数前年比	101.9	101.3	101.7	111.0	107.8	109.6	106.9	111.5	113.2	116.5	116.2	125.8	126.6	118.8	119.2
成分調整牛乳	販売個数	2,546	2,644	2,556	2,861	2,756	2,817	2,756	2,902	2,927	3,040	3,090	3,230	3,224	3,215	3,195
	販売個数前年比	82.4	82.9	81.6	90.7	86.8	87.4	86.4	89.2	97.9	108.8	108.6	118.0	119.5	108.6	109.1
加工乳	販売個数	716	734	714	796	755	767	741	805	804	834	827	879	879	895	901
	販売個数前年比	179.7	176.9	178.2	195.4	183.3	183.9	182.5	190.0	133.0	105.5	97.6	107.0	105.3	101.2	103.6
乳飲料	販売個数	4,708	4,800	4,688	5,190	4,894	5,056	4,904	5,187	5,182	5,313	5,485	5,686	5,728	5,801	5,737
	販売個数前年比	103.7	103.1	102.2	113.6	106.4	109.5	107.6	111.6	108.4	109.1	109.3	118.0	121.2	109.1	111.6
	販売単価	150.1	150.1	149.9	150.1	150.3	150.4	150.5	150.8	150.5	150.3	150.9	151.5	151.3	151.0	150.7

【グラフ 各品目直近の販売本数推移】



【ヨーグルト類の販売速報(推定値):(一社)Jミルク調べ】

(1)直近(本年2月～)の動向(表②参照)

直近(5/11週)の販売個数は、ドリンクタイプ(90～250ml):前年同期比100%以上、個食タイプ(70～130ml):同100%以上、大容量タイプ(350～500ml):同110%以上。

(2)ゴールデンウィークと重なった前週(5/4週)は落ち着いた印象となったが、各品目において前週を上回っており、特に大容量タイプについては引き続き前年を大きく上回って推移している。

【表② 直近のヨーグルト類の販売動向】 ※量販店・コンビニ等、小売店の販売実績

品目	2.10-	2.17-	2.24-	3.2-	3.9-	3.16-	3.23-	3.30-	4.6-	4.13-	4.20-	4.27-	5.4-	5.11-
ドリンクタイプ	⇒	↻	↑	↻	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	⇒	⇒
個食タイプ	↘	⇒	↻	↘	⇒	⇒	⇒	↻	↻	⇒	↻	↑	↘	⇒
大容量タイプ	↘	↘	↑	⇒	↻	↻	↻	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑

-  : 前年比90%未満
-  : 前年比90%以上100%未満
-  : 前年比100%以上105%未満
-  : 前年比105%以上110%未満
-  : 前年比110%以上120%未満
-  : 前年比120%以上

※なお、下地の色が濃いほうが、上記範囲内で前年との増減差が大きいことを表す。

※本データの収集・分析は、2020年度生乳需要基盤確保事業を活用し実施しております。

《その他参考情報》

- ・コロナ禍で酪農家が生乳を廃棄しなければならない理由(国際酪農連盟ブログから)
ミルクHP: <https://www.j-milk.jp/report/international/h4ogb4000003ney.html>
- ・医療・福祉施設などへの牛乳の無償提供について
ミルクHP: <https://www.j-milk.jp/news/free-milk.html>
- ・牛乳を贈る助け合いプロジェクト「#COWエール」をホクレンが5/12(火)より開始
ホクレン農業協同組合連合会HP: <https://www.hokuren.or.jp/news/detail.php?id=621>